

# “夏の足工” 伝統校のプライドを胸に

*ASHIKAGA TECHNICAL High School Baseball Club News*

APR 2017 Vol. 13

南部地区予選では、本当に多くのご声援を頂きありがとうございました。

しかし結果は、春季県大会でベスト8進出を果たしたシード校・栃木工業を相手に立ち向かいましたが、0対10での敗戦となりました。この試合に勝つことを目標に、冬のトレーニングにも取り組んできただけに悔しく思っています。ただ、これで終わりではありません。夏こそ、この悔しさを晴らすべくグラウンドだけでなく、学校生活からもう一度見つめ直し、頑張りたいと思います。

また、今春の県大会では、8校のシード校のうちベスト8に残れたのは4校だけでした。多くの試合を経験して感じるのは、どのチームにも力の差はないということです。野球は難しく、本当に何が起きるか分かりません。選手にとっても、大会の中で持てる力を発揮し、結果を出すことの大変さなど、夏の大会を前に貴重な経験となったはずです。1つ1つやるべきことをやり、浮き彫りとなった課題を克服できれば、本校にも十分にチャンスはあると考えています。今回の敗戦を胸に刻み、部員一同、夏に向けての再スタートを切りたいと思います。

最後に、今年度については部員不足に悩むチームも多い中、17名の新入部員を迎えられたことを嬉しく思います。さらに、小山北桜高校で長年部長を務め、高野連の理事としても活躍している日向野 豊先生が新たに部長として加わって下さることとなり、経験豊富で心強いスタッフが増えました。高校野球の本来あるべき姿。そして“人間性豊かな工業人の育成”という本校の教育目標、さらに“向学”“愛隣”“剛健”“創造”という校訓を忘れず、平成29年度も努力していく所存です。5月には次なる目標となる市内大会も控えています。中間テスト直後という難しい日程ではありますが、南部地区予選の悔しさを晴らせるよう頑張ります。選手の懸命なプレーに温かいご声援、ご協力をお願いします。

